

| | | | | |
|---|---|------|----|-------|
| 年度 2007 学期 後期 | 曜日・校時 木 2 | 必修選択 | 必修 | 単位数 1 |
| 授業科目/(英語名) | フランス語 French | | | |
| 対象年次 2年次 | 講義形態 演習 | 教室 | | |
| 対象学生(クラス等) 2E7~10 | 科目分類 外国語科目(フランス語) | | | |
| 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:橋本千鶴子 / Eメールアドレス:chizu_hashi@ybb.ne.jp /研究室: 非常勤講師室 /オフィスアワー:木曜日 14:20-14:30 それ以外はメール連絡などで設定する。 | | | | |
| 担当教員(オムニバス科目等) | | | | |
| <p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい:フランス語で習得した基礎を発展させて、欧州言語学習基準枠の発見段階A1レベルに相当するフランス語運用能力を身に付けることを目標に、聞く・話す・読む・書くのグローバルな学習を進めていく。教科書にとどまらず、音楽、テレビ録画や映画の断片、インターネット等の資料など、いろいろな生素材を導入し、フランス語を生きた言葉として、現実的・実践的に取り扱う。さらに、相手の文化を学ぶだけではなく、自らの文化とつねに比較することにより、相対化していく訓練も取り入れ、それらを口頭、筆記練習につなげていく。</p> <p>授業方法:教科書を中心に、單元ごとに明確な獲得目標に沿って、語彙・文法・表現・文化の学習をする。</p> <p>授業到達目標:動詞の未来時制を使いこなせる。天気や気候の表現を理解し、言える。比べる表現ができる。近い未来と過去が表現できる。不確実性を表現できる。適切な時制を使い分けて過去の話ができる。簡単なハガキや履歴書が書ける。</p> | | | | |
| <p>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要) 教科書の単元に沿って以下の内容を学習する。</p> <p>第1回 Si vous gagnez vous ferez quoi?(もし当たれば、何をしますか?):予想する、単純未来 第2回 比較(2)(最上級)、条件を表す接続詞 si、単純未来形を使って、予想を表す、テレビのクイズ番組、フランスのテレビ 第3回 Parasol ou parapluie?(日傘?雨傘?):天気・天候、非人称構文 第4回 近接未来、天気表現を練習する、フランスの気候 第5回 Quand il est midi à Paris...(パリは正午でも、、、):時差、代名動詞の命令形、進行形 第6回 近接過去、「もうs...ない」、比較(3)、フランス人の一日 métro, boulot, resto, dodo(通勤、仕事、食事、寝る) 第7回 Vous allez vivre à Paris?(パリで暮らすんですか?):不確実な未来、条件法 第8回 rien と personne, chaque と chacun、葉書を書く、都市と地方 第9回 L'avenir du français(フランス語の未来):フランス語圏、理由をたずねる・言う、比較を表す meilleur と mieux 第10回 très et trop、なぜフランス語を勉強しているのですか?世界の中のフランス語 第11回 Souvenirs d'enfance(子どもの頃の思い出):思い出を語る、直説法半過去 第12回 J'ai fait mes études à Lyon 2(リヨン第2大学を出ました):就職活動、直説法複合過去 第13回 Retour des Antilles(アンティル諸島からの帰り):海外領土・海外県、複合過去と半過去の使い分け 第14回 Au voleur! Au voleur!(どろぼう!):複合過去と半過去の使い分け(続き) 第15回 疑問文のまとめ、マスコミ</p> | | | | |
| キーワード | 発信する語学 異文化理解 | | | |
| 教科書・教材・参考書 | FESTIVAL 1 (CLE International) 辞書 (仏和辞典あるいは電子辞書) | | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験(中間・期末)70% 小テストや課題20% 授業への積極的参加状況10%等を総合的に評価する。 | | | |
| 受講要件(履修条件) | | | | |
| 本科目の位置づけ /学習・教育目標 | | | | |
| 備考(準備学習等) | | | | |